

鹿嶋神社神楽稚児舞だより

わかめっ子通信

平成 30 年 4 月号
わかめっ子通信社
富山県朝日町宮崎 1485
鹿嶋神社祭典委員会

巻頭

宮崎地区では、鹿嶋神社の春祭に稚児舞・獅子舞を奉納します。

今年も、小学生・中学生が練習を重ねてきました。

この芸能は、古くからこの朝日町宮崎に伝わり、これまで地区の青年たちを中心にこの伝統を守り続けています。力いっぱい演技は多くの人を感動させます。どうかたくさんの方に、見ていただき応援していただきたいと思っています。



4月9日衣装合わせ
「よく似合ってますねえ～」



今年の子ども演技者紹介

踊り子

九里 櫻介 (さみさと小三年)

前川 凌太郎 (さみさと小三年)

水嶋 海翔 (さみさと小三年)

水嶋 更久音 (さみさと小三年)

水嶋 凛音 (さみさと小二年)

加藤 聖菜 (上青小三年)

田中 瞳衣 (さみさと小三年)

水嶋 暖菜 (さみさと小三年)

加藤 咲奈 (さみさと小四年)

水嶋 心優 (さみさと小四年)

米田 琉亜 (さみさと小四年)

神楽・獅子舞

建部 隼汰 (さみさと小五年)

水嶋 涼 (さみさと小五年)

田中 海風 (さみさと小六年)

扇谷 文太郎 (富大付属中学一年)

河内 拳斗 (朝日中二年)

水嶋 剣三 (朝日中二年)

大演 優磨 (朝日中三年)

前川 佳吾 (朝日中三年)

扇谷 壮太郎 (富大付属中学三年)



→ 神楽練習風景

稚児舞とは

稚児舞は、男児の「槍踊り」女児の「扇踊り」で構成され、以前は数え七歳の男児が村の家々を回り演じていました。漁業を産業とする村民の悪霊退散と海の被災者の鎮魂を祈る意味が込められています。この稚児舞は、踊り子の父親も加わる無伴奏の若衆の歌や衣装とも他に類を見ない独自の芸能です。最終日、御神輿が拝殿にお帰りになった後、神社の参道を舞台に神楽、稚児舞の最後の奉納が行われます。この最後の力を振り絞る子どもたちの熱演に対して、村人の「まいぞー」の声援と拍手が送られます。

◇詳しくは、鹿嶋神社
「拍子木」に寄付ください。

〇七六五八二二一九七まで

応援メッセージ

郷土に誇りと愛着をもつ

子供たちに

さみさと小学校 校長 松原 隆志

朝日町の伝統文化の一つに

宮崎稚児舞保存会によって受け

継がれている「宮崎稚児舞」があ

る。毎年地域で一か月以上も

練習を重ね、男子は黒の紋付き

に豆絞、女子は紫の振り袖に

花笠の衣装を身に纏い、凛とした

表情で、堂々と舞う姿はとて

も素敵だ。

体験を通して、地域の歴史と

伝統、文化に触れ、それを受け継

ぐ「かがやき名人」に出会い、一層

自分の地域のが好きになり、

郷土に誇りと愛着をもつ子供に

育ててほしいと願っている。

日程・場所
平成三十年五月三日・四日
午前十一時～午後七時まで(雨天順延)
※両日は、順次村内各家の前で踊ります。
神前奉納(フィナーレ) 鹿嶋神社前
四日午後八時十五分

朝日町指定文化財

稚児舞奉納

—越中宮崎鹿嶋神社春祭—

平成三十年五月三日・四日
午前十一時〜午後七時まで
雨天順延
両日は、順次村内の各家の前で踊ります。
神前奉納(フィナーレ)鹿嶋神社前
四日午後八時十五分〜
〈お問い合わせ先〉
鹿嶋神社 〇七六五・八二・二一九七



主催: 鹿嶋神社 / 宮崎地区自治会 / 宮崎稚児舞保存会 / 宮崎神楽保存会 後援: 朝日町教育委員会